



社員と会社がともに「幸せ」であるために

株式会社トモエシステム

今回は、平成30年度の「こうべ男女いきいき事業所」表彰企業である株式会社トモエシステムを訪ねました。産業機械部品の専門商社である同社は、国内ほぼ全ての建機メーカーを顧客に持ち、海外の取引先も数多く抱えています。今後の経営には多様な人材の確保が不可欠だとして、トップ自らが社員の働きやすさと働きがい追求し、社内風土改革に取り組んでいます。

社員一人ひとりが生産性を向上し いきいきと安心して働ける環境づくり

平成28年より、社屋の大掛かりな改修で職場環境を改善するとともに、年間の休日日数の拡充に着手。この5年間で休日は9日増えて118日になりました。また、年次有給休暇制度は時間単位で取得できるよう見直し。賃金改革や福利厚生制度の充実で、社員のモチベーションを上げ、働き方の質・効率が向上しました。「社員を大事にし、社員の幸福につながるための具体的な策が長期的な会社の成長につながる」と執行役員人事総務部長の大竹祥司さんは話します。

男性育休100%宣言

新卒の採用を進める中で、多くの若い男性が育児休業の取得を希望していることを知りました。そこで、令和元年には「男性育休100%宣言」を行い、経営方針の一つとして全社員に周知しました。

また、育児休業での収入減が取得のためらう要因の一つであるため、会社から給料を全額支給する仕組み(最大5日間)も取り入れました。「家族が亡くなった時は忌引きとして周囲の理解があるのに、子どもが生まれる時に休みにくいのはおかしい。生まれる時の方があらかじめ日にちが分かるので、仕事のコントロールができ、休みやすいはず。休みに向けて仕事を進めることで、生産性が向上し、職場内での情報の共有化も図れるなどのメリットがあります」と大竹さん。

男性社員の育児休業取得第1号の海士部豪あまべさんは、第1子誕生時に5日間の育児休業を取得。子どもをお風呂に入れたり、家事に積極的に取り組んだりしたことで「子どもが懐いてくれ



4カ国の社員が集う船上パーティー。多様な人材がいきいきと働いています。

たし、家族と過ごす時間が増えてうれしかった」と笑顔を見せます。

また、営業管理部の川口友久さんは第2子誕生の際に取得しました。「生まれる前から、生後2週間ごろに9日間取ると決めていました。産後ひと月ぐらまでは妻の体調も万全ではないので、その頃にサポートしてあげたかった。育休中は買い物、食事の支度、掃除、上の子の送迎と一通りの家事をこなし、家事育児の大変さを実感するとともに、妻に一層の感謝の気持ちを持ちました」と話します。

2人の育児休業取得の際には、職場の上司が率先して働き掛け、周囲の方も快く協力体制をとってくれる等大きなバックアップがあったそうです。

「働く人を幸せにできる企業しか生き残れない」。これからも、社員一人ひとりがのびのびと働くことができるよう、取り組みを進めます。



「最初は不安でしたが、休んで本当によかったと思います」と海士部豪さん。



「休んだ間フォローしてくれた人たちに感謝です。逆の立場になったら協力は惜しみません」と川口さん。

会社概要 / 神戸市兵庫区 従業員：80人 (女性33人)
<http://www.tomoe-group.co.jp/>